

# 支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開  
若い世代の育成に全力をささげる

都民代表:吉田つとむ(町田市議)

＜編集発行＞

支持政党なし TOKYO  
〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評  
若者育成・就業支援

## 聖火リレーのスタートとその火が消える時

東京オリンピックの聖火リレーが、3月25日に福島のリビレッジ(東日本大震災で原発事故が発生した福島原発から20キロを少し過ぎた場所にある)をスタートしました。なでしこジャパンのメンバーがその第一走者を務めました。メインの澤穂希元選手が直前で出場辞退をするニュースもありました。当地やメディアの扱いでは、何事も無かった様相であり、福島県内を走り、次の栃木県に移って行きました。とにかく、聖火を走らせるということがオリンピックの自己目的の一つになっているように思えました。

また、聖火リレーでその灯が途中で消える事態も起きましたが、別に用意された「種火」を使って、次につないでいました。箱根マラソンであれば、すぐにこのリレーチームは直ちに失格とされるでしょうが、実質は国家的に行っている全国縦走イベントであり、どんな状態になろうと途中棄権は想定されていないストーリーが描かれているものと思います。

世相では、街に人出が増えて、第四波のコロナ感染が来るのではないかと懸念が出ていますが、聖火リレーへの批判はタブーになってきました。



福島原発事故の直後に、放射線量測定器を個人で購入し、各所を測定(当時の写真)

## オリパラの実行委員会の人事でなんだろう

オリンピック組織委員会の代表人事は驚きが続きましたが、ある意味、象徴的な人事は次のものでしょう。

当初、狂言師の野村萬斎さんを総合統括とする多彩な人材を集めて、東京大会の開閉会式演出が創案されたが、オリンピックの延期で企画が没とされ、簡素化ということで、電通マンがいつの間にか仕切り役になり、ことが進められたものが、開会式イベントの人材への差別発言が表面化して辞任となりました。



その背景では、当事者(当初の実質的な責任者だった振付師・演出家のMIKIKOさん)からこのメンバー交代の次第がオープンにされましたが、オリンピック組織委員会の品位のかけらもない、企画流用の路線で、さもそれがこの経緯を大事にしているかの話でした。自分がメインで進めていた次第が、オリンピックの延期で全部が廃棄され、自分が預かり知らぬところで作られた次第の中の駒になれて言っても承知できるはずもないでしょう。オリンピック組織委員会は、MIKIKOさんが断ることを承知で、その人事を伝えたということになります。ことを正しく進める意識が無く、自分たちが牛耳りたいという野心のみでできているのでしょう。

★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。  
★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔らかな思考にもとづいて議論をする立場です。

# 支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開  
若い世代の育成に全力をささげる  
都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP



メールは  
左記を誦込  
して送信



インターン生募集中  
社会見学・体験勉強

## 政治の立脚と足腰の強度

国会では、野党から内閣の不信任案が出される様相が起きました。



立憲民主党の安住淳国対委員長が最初に衆議院解散に言及したところ、自民党の二階幹事長は、「内閣不信任案が出れば、自分は菅総理に国会解散を進言する」と対抗しました。これがチキンレースであれば、衆議院選挙に至って、当選者の数で勝敗が決するのですが、果たして、今回はどういう結末を迎えるのでしょうか。すでに、武田総務大臣の不信任案が出される話が出ましたが、それを否決して終わりでしょう。本来は、とことんやれば、大臣の椅子は変わるのでしようが、それはそれで終わりになります。

与党側から、国会解散の話が出たなら、野党は喜んでそれを受ける。それだけの体力か、根性が必要です。とりわけ、野党の第一党に求められるのは、そうした、戦う力量があるか、出し抜く決断力があるか、一瞬でもためらわずに責める力量があるか、それを欠いて、平穏を望むなら、そもそも抵抗政党に甘んじようというものではないでしょうか。

## 高校生の巣立ちに面して

高校3年生でインターンシップに参加していた、松村エメリさんが高校を卒業して、巣立っていきました。

通常のインターンシップでは、通常、大学生の夏季休暇中にインターンシップに参加するのが通例でした。早い時期では、大学1年生の終わりの時期に参加する例は何度かありますが、最も早い時期では、第39期生の宇津木彩名さんが、1年生の5月早々に参加した例が現在までに最も早い参加時期でした。

ただし、こうした一切の前後関係を飛び越えたのが、松村エメリさんです。高校3年を迎える春休み、AO入試を目指して、その一環で、インターンシップに参加する方法を取りました。

時あたかも、高校の教科書検定が変更され、自らが課題を見つけて、解決策を探し当てる「主体的・対話的で深い学び」=アクティブラーニングと言われる理念が盛り込まれることとなります。2022年の高校1年生より、大きな転換点になります。



- ★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。
- ★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- 昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。